

開催日時：令和7年3月17日（月） 15時00分から16時00分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・人事異動について、思うように人員が増えなかったことがあり、各部局からの人員要望に答えられていない状況である。状況を受け止めていただき、新体制で最善を尽くしてほしい。
- ・人事異動はその時の様々な条件の中で検討して組織全体の中で決まった結果であり、個人に対する評価だけで配置したものではない。このことを理解し、相談を受けた際には、職員にも伝えてほしい。
- ・財政見通しは見る人によって受け止め方が異なることが想定され、様々な意見があると思う。あくまでも現時点で見込める数字を整理した「ものさし」であり、これを当てながら事業実施の可否を判断するものである。財政見通しに記載されている事業を全て実施するというものでも、記載の事業以外を実施しないというものでもない。このスタンスを全部局長で共有したい。
- ・1年間大変お世話になった。今年度の最後の日まで、引き続きよろしくお願いします。

<副市長>

- ・今年度の残り10日余りの期間は、職員の体制や予算を踏まえた次年度の計画をしっかりと立てる期間とすること。
- ・市役所の食堂について、事業者の募集をしたが応募がない状況であり、市役所内での食堂営業が難しい状況である。職員の健康管理のためにも1階の売店機能を充実したいと考えており、意見をいただきたい。食堂のある場所は、庁内で一番ロケーションが良い場所であるため、活用のアイデアを募集したい。

<教育長>

- ・市内の小中学校は、卒業式の時期である。昨年から卒業式に参加するようになったが、卒業式もコロナ禍を経て卒業生の服装など変わってきたと感じる一方で、式の内容自体はあまり変わっていないと感じる。
- ・社会的価値が変わってきていることを鑑み、教育行政のあり方についても検討していきたい。

2 報告事項

(1) 飯田市財政見通し（令和7年～16年度）について

◇趣旨

- ・飯田市財政見通し（令和7年～16年度）について報告する。

◇意見

（企画部長）

- ・前回示した内容から整理した部分はあるか。

（財政課長）

- ・「期間内で見込む主な大規模事業の想定」の中の「産業用地整備事業」及び「学校給食施設整備事業」について、内容が決まってきたため、具体的に記載した。

(市長)

- ・地方債の償還期間の見直しの効果が平準化に大きく影響し、想定よりも厳しい見通しにはならなかったと感じる。しかしながら、楽観視できる状況ではないため、毎年の予算編成の中でそれぞれの事業を精査しなければならない。財政見通しは一般財源ベースで推計しているため、特に地方債を充てていない事業について精査する必要がある。毎年同じように計上している事業は、しっかりと見直しをして予算計上すること。

(副市長)

- ・公債費について、令和5年度の決算を反映した財務4表からも、当市は将来世代の負担が少ない状況がある。つまり、借入れに対して短い年数で返済をしていることで、現役世代の負担が大きくなっているということである。これは政府資金から繰越資金に推移してきたことにより、償還期間が短くなってきた経過による。
- ・今回の財政見通しの見直し検討の中で、可能な地方債についての償還期間を10年から15年に見直しをしたことで、公債費の平準化ができた。

(福祉部長)

- ・現状では一定程度の人件費がかかる状況がある中で、会計年度任用職員の働いてもらい方をどの場でどのように検討していくか考える必要があると感じている。各部局で見直しをするのは限界があり、全体で検討しなければならない課題であると考えている。

(総務部長)

- ・現行の行財政改革の実行計画の中では正規職員の定員を800人としているが、令和7年度に1年間かけて定員のあり方を見直していく。会計年度任用職員についても、見直しの必要性は各職場でも感じていることと思う。行革の視点だけでなく、働いてもらい方改革や働き方改革、ワークライフバランスなど含めて整理し、方向性を定めたい。

(企画部長)

- ・BPRについて、今年度はモデル事業を選定して見直しをかけた。これをきっかけに、来年度は具体的に各課で進めていけるよう、全庁に示していきたい。

(総務部長)

- ・現在、春闘が行われており、8月頃にはベースアップの話が出てくることが見込まれる。
- ・今年の人勧では若年層の給与が上がったが、会計年度任用職員も該当しているため、影響が大きかった。令和8年度予算にも影響が見込まれており、人事部門で整理していくが、各部局にも協力をお願いする。

(2) 令和7年度記者会見の日程について

◇趣旨

- ・令和7年度記者会見の日程について報告する。

(3) 令和7年度広報いいだ特集・テレビ広報制作計画について

◇趣旨

- ・令和7年度広報いいだ特集・テレビ広報制作計画について報告する。

◇意見

(市長)

- ・小中学校が夏休みに入る前に、こども達が遊べる場所や長期休業期間の居場所について広報したいが、特集を組むことはできるのか。

(広報ブランド推進課長)

- ・掲載するよう検討する。

(企画部長)

- ・今年度、市ウェブサイトの子育てと移住定住のページの改修をしているので、活用していきたい。また、

市民へ広報する機会として、記者会見を活用してほしい。

3 令和7年飯田市議会第1回定例会の反省について

(企画部長)

- ・社会文教委員会協議会の中継ができなかった機械トラブルがあった。状況を確認すること。
- ・全員協議会の開催日程が前倒しされイレギュラーな対応があった。日程の調整が必要だと感じた。

(議会事務局長)

- ・全員協議会の日程について、令和7年第2回定例会以降は開会日の前々日又は前日に設定した。

(議会事務局長)

- ・委員会審査では執行機関側にしっかりと説明していただき、分かりやすかった。
- ・指定管理はガイドラインに沿って基本的な資料が作成され、それに基づいた説明がされるべきであるが、そもそも資料自体がガイドラインに沿っておらず、質疑の中で担当者の思いを語ってしまい、ガイドラインから外れた説明をする場面があった。ガイドラインに沿って事務を行い、その資料に基づいた説明をするよう注意してほしい。

(企画部長)

- ・事務事業進行管理表の修正が数件あった。確実に最終確認をしてほしい。
- ・議会に提出する資料は、市長決裁を要するため余裕を持った起案を心掛けてほしい。また、資料の縦横が統一されていないものがあったが、読み手が読みやすいように配慮してほしい。

(副市長)

- ・各委員会ではしっかり説明できており、やり取りもかみ合っていたと感じる。委員会という場で議論いただけたことが良かった。

4 その他、連絡事項

- (1) 地方自治法施行令の一部を改正する政令案の概要（抜粋）について
- (2) BPR支援業務の最終報告会について
- (3) 田中芳男トピック展示について

5 閉 会